

令和 6 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和 6 年 7 月 23 日（火）17:00～18:00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出席：7 名

有賀拓郎（琉球大学病院診療情報管理センター副センター長）、伊藤ゆり（大阪医科大学研究支援センター医療統計室室長准教授）、埴岡健一（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授）、東尚弘（東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授）、山里紘美（沖縄県保健医療介護部健康長寿課主任）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター長）、伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター診療情報管理士）

欠席：3 名

天野慎介（全国がん患者団体連合会理事長）、井岡亜希子（まるレディースクリニック院長）、平田哲生（琉球大学病院診療情報管理センター長）

陪席：1 名

西佐和子（琉球大学病院がんセンター事務）

【報告事項】

1. 令和 6 年度 第 2 回ベンチマーク部会議事要旨について

増田部会長より、資料 1 に基づき、ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。

2. それぞれの分野で評価対象とするがん種について

増田部会長より、資料 2 に基づき、前回の部会で協議した評価対象とするがん種について、改めて報告があった。

3. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の指標評価ツール（グラフ表示機能付き）の修正について

増田部会長より、資料 3 に基づき、指標評価ツールの修正について報告があった。グラフ内に基礎情報（年齢調整の年齢分布等）が追加された。今後は沖縄県の順位を表示できるようにする予定とのことだった。

4. その他

特になし。

【協議事項】

1. 進捗評価のための施設へのアンケートについて

2. 進捗評価のための 41 市町村へのアンケートについて

増田部会長より、資料 4、資料 5 に基づき、アンケート依頼票と質問一覧、Web アンケートフォームについて説明があった。

埴岡副部会長より、質問一覧ではなく指標一覧がよいのではないかと提案があった。また、現況報告書と同じ質問が含まれているとの指摘を受けて、既存情報を再度確認することになり、施設アンケートについては、拠点病院、拠点病院以外の二通りのアンケートを作成することになった。

3. 医療者調査について

東委員より、資料 6 に基づき、医療者調査の解析について進捗報告があった。

埴岡副部会長より、医療者調査の結果を指標ではどう表記しているか確認があり、実現率と最多回答の二通りを表記するのか、解釈を別表記にするのか等の検討をすることになった。また、埴岡副部会長より、医療者調査の解析が終わり報告書を出した後、問題点に対する対応策を検討し見解をまとめる必要があると提案があり、事務局でたたき台を作成することになった。

増田部会長より、次回の部会あたりから第 3 回医療者調査の検討を始めたいと報告があった。

4. ベンチマーク部会のロジックモデルについて

ロジックモデルが未完成のため、次回へ持ち越しとなった。

5. その他

・ロジックモデルのダッシュボード作成について

埴岡副部会長より、ロジックモデルに指標データが入り完成度が高まってきたが、データが詳細になり大きくなってきた。次に求められるのはダッシュボードという要約版の作成であるとのコメントがあった。特に数値が悪くニーズが高い部分を中心に抜き出し、右から左に繋がっている部分をダッシュボードにまとめ、同時にリコメンデーションや来年度の重点施策案を作成する作業は可能かどうか質問があった。増田部会長より、検討すると回答があった。

・オリエンテーションについて

埴岡副部会長より、ダッシュボードが整備されて、議論を始める前に、数値の読み方などのオリエンテーションが必要になってくる。今後、検討いただきたいとコメントがあった。

令和6年度 第4回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和6年8月13日（火）15:00～16:15

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：6名

有賀拓郎（琉球大学病院診療情報管理センター副センター長）、伊藤ゆり（大阪医科大学研究支援センター医療統計室室長准教授）、埴岡健一（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授）、東尚弘（東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授）、平田哲生（琉球大学病院診療情報管理センター長）増田昌人（琉球大学病院がんセンター長）、

欠 席：4名

天野慎介（全国がん患者団体連合会理事長）、井岡亜希子（まるレディースクリニック院長）、山里紘美（沖縄県保健医療介護部健康長寿課主任）、伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター診療情報管理士）

陪 席：1名

西佐和子（琉球大学病院がんセンター事務）

【報告事項】

1. 令和6年度 第3回ベンチマーク部会議事要旨について

増田部会長より、資料1に基づき、ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。

2. 第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の進捗について

増田部会長より、資料2に基づき、第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の進捗について報告があった。

3. その他

特になし。

【協議事項】

1. 進捗評価のための41市町村へのアンケートについて

増田部会長より、資料3に基づき、41市町村向けの質問票について説明があった。

- ・平田委員より、沖縄県がん対策推進計画が沖縄県と協議会で分かれて実施されていることを市町村が理解しているのか質問があった。県と重複して回答する形になる可能性があるため、意義について初めに説明するとよいのではないかと提案があり、市町

村検診担当課に送る文書にその意義を含めることになった。

- ・「昨年度、がん検診事業を担当している方は何人いましたか？」という質問について、埴岡委員より、検診担当の他に手伝っている人がいる場合、その人数が分母になると他の回答にも影響が出ると指摘があった。キャンペーンの開催回数や広報誌に掲載した回数を問う質問についても、同様に質問の聞き方を工夫したり、補足説明を加えることになった。
- ・「感度と特異度を把握していますか？」という質問について、伊藤委員より、がん登録を使わないとできないのであれば、市町村に直接聞かずに、がん登録の利用状況（19条申請）から把握するのはどうかと提案があった。増田部会長より、別の指標「がん登録情報を活用した精度管理実施市町村数の割合」の件で県に問い合わせた結果、がん登録情報を利用している市町村はないと確認が取れていると回答があり、感度・特異度の質問は省くこととなった。続いて、伊藤委員より「予定していますか？」と質問するのは良いと思いますと提案があり、その方向で修正することになった。

2. 進捗評価のための施設へのアンケートについて

増田部会長より、資料4に基づき、医療施設向けの質問票について説明があった。

- ・埴岡委員より、沖縄県のがん診療においては、施設集約がされ各医療施設の役割が明確に定められているため、特定のがんの指定病院に応じて専門医の数を増やす必要がある。このような背景を踏まえずに、他分野の専門医の数に関する質問がなされると、混乱を招く恐れがあるため、前置きを設けることが望ましいとの意見があった。
- ・伊藤委員より、「はい」と「いいえ」の二択で構成されている場合、「いいえ」に対する理由が、把握できていないのか、それとも知らなかったという可能性も考えられないかと質問があった。「いいえ」の理由を明確にすることができればより良いのではないかと提案があり、協議の上、選択肢に「わからない」を追加することになった。続いて、拠点病院では義務で行うべき質問があるため、聞き方の工夫をしてはどうかと提案があった。
- ・「希死念慮が認められた場合に、早急に精神科医に紹介した患者はいますか？」という質問について、東委員より、ロジックモデルの概念としては理解できるが、希死念慮の定義が非常に難しく、アンケートで聞くのではなく、施設に質問するのも適切ではない。実際にはその測定がほぼ不可能であり、非常に難しいとの意見があり、この質問は省くことになった。

3. その他

- ・次回の部会は9月中旬開催で日程調整をします。
- ・アンケートの修正案は1週間以内にお送りするので、意見をいただきたいと考えてい

る。その際、市町村と施設宛の文書を添えて、より完成品に近い形で提案しますので、その点についても意見を寄せていただければと思います。

<参考 URL>

全国がん検診実施状況データブック

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/scr_databook.html